

(愛称) **イノベーターティフ・フューチャー**

グローバル・プロスペクティブ・ファンド
(追加型投信／内外／株式)

組入上位銘柄のご紹介

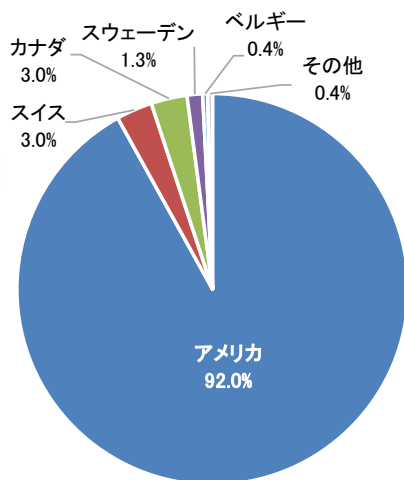
基準価額および純資産総額などの推移



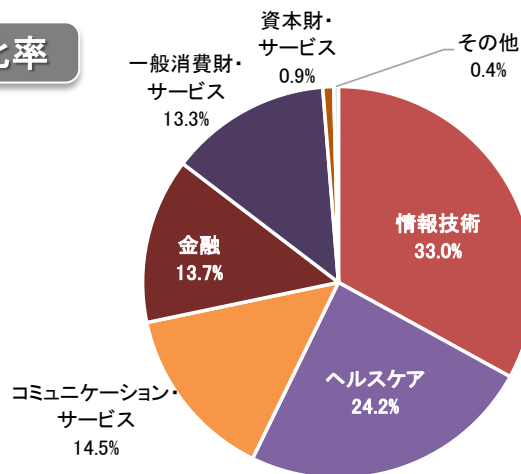
- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- 世界株式はMSCI ACワールド指数(トータルリターン、米ドルベース)の値を、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、前営業日の同指数の値と為替で日興アセットマネジメントが円換算したものです。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成 ●上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ポートフォリオの概要 (2023年9月末現在)

国・地域別比率



業種別比率



- 業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類を用いています。
- その他には現金などが含まれます。

組入上位銘柄

(組入銘柄数:42銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	Tesla Inc テスラ	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	8.6%
2	Roku, Inc. Class A ロク	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	8.2%
3	ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ	米ドル	アメリカ	情報技術	8.0%
4	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A コインベース・グローバル	米ドル	アメリカ	金融	6.7%
5	UIPATH INC - CLASS A ユーアイパス	米ドル	アメリカ	情報技術	4.6%
6	Block, Inc. Class A ブロック	米ドル	アメリカ	金融	4.6%
7	DRAFTKINGS INC-CL A ドラフトキングス	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	4.5%
8	TWILIO INC - A トゥイリオ	米ドル	アメリカ	情報技術	3.9%
9	UNITY SOFTWARE INC ユニティ・ソフトウェア	米ドル	アメリカ	情報技術	3.6%
10	ROBLOX CORP -CLASS A ロブロックス	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.5%

- ※ 上記は、日興AMルクセンブルグ・エス・エイより提供された「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA 円建投資証券」の情報です。
- ※ 銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、正式名称と異なる場合があります。
- ※ 各種比率は上記の円建投資証券の純資産総額比です。端数処理の関係で合計が100%とならないことがあります。
- ※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介①



12月決算

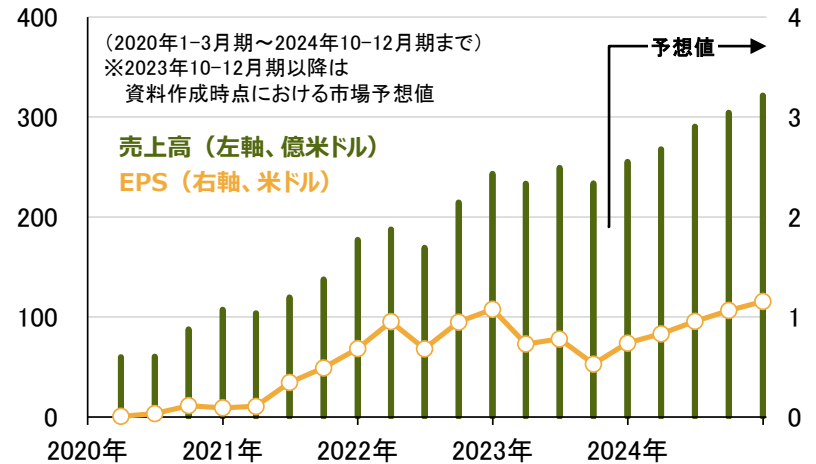
TESLA
(テスラ)

業界をリードするEV(電気自動車)メーカーとして存在感を示す

- 累積生産量の増加に伴うコストの低下を予測するライトの法則と、技術の向上によるEV市場の成長に関するARKの仮説は変わっていない。ARKでは、バッテリーのコスト低下によりEVの価格が下がるにつれ、EVの販売台数は2022年の約800万台から2027年には6,000万台まで増加するとみている。
- テスラは、部品調達から組立作業、販売を自社で一貫して行なう体制を整えており、コスト削減で業界をリードできるとARKは考えている。同社は依然として、ARKの確信度の最も高い銘柄のひとつである。
- ARKでは、同社は走行距離、性能、安全性、そして重要な技術に加え、特に完全自動運転(FSD)ソフトウェアによる自律走行の実現に注力する点で、EV業界のリーダーであり続けると考える。
- 2023年10月、同社は2023年7-9月期の業績発表において、FSDの累計走行距離が5億2,500万マイルに達したことを明らかにした。これは、競合他社と比較してデータ面で大きな優位性を持つことを意味するとARKは考える。

- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価(上) および四半期売上高/ EPS (下) の推移】



組入上位銘柄のご紹介②



12月決算

ROKU (ロク)

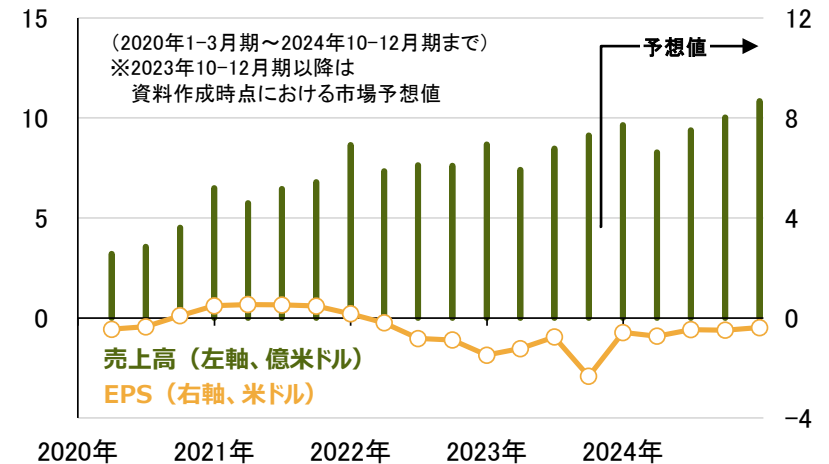
ストリーミングサービスのプラットフォームで圧倒的な地位を占める

- ロクは、ストリーミング動画配信事業者向けに、テレビ用のOS(オペレーティングシステム)を提供する会社であり、OSを利用する事業者から収益を得るため、事業者間の競争状況にかかわらず収益が得られる仕組みとなっている。
- ARKでは同社への投資に際し、同社が手掛けるストリーミング方式*1のテレビの視聴率が上昇するなかで、現在の広告予算に注目している。
- ビデオ・エンターテインメントが、リニアテレビ*2から、ストリーミング方式へ移行することにより、米国のストリーミング世帯数はリニアテレビ世帯数を既に上回ったと推定している。その一方で、ストリーミングの広告収入は、テレビ広告費全体の23%にとどまっている。ARKは、このギャップは2027年末までに縮まると考えており、同社の収益は増加するとみている。

*1 視聴者が希望する番組を随時視聴できる方式

*2 提供者が作成する番組表に従って放送を視聴するテレビ

【株価（上）および四半期売上高／EPS（下）の推移】



- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入上位銘柄のご紹介③



1月決算

ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS

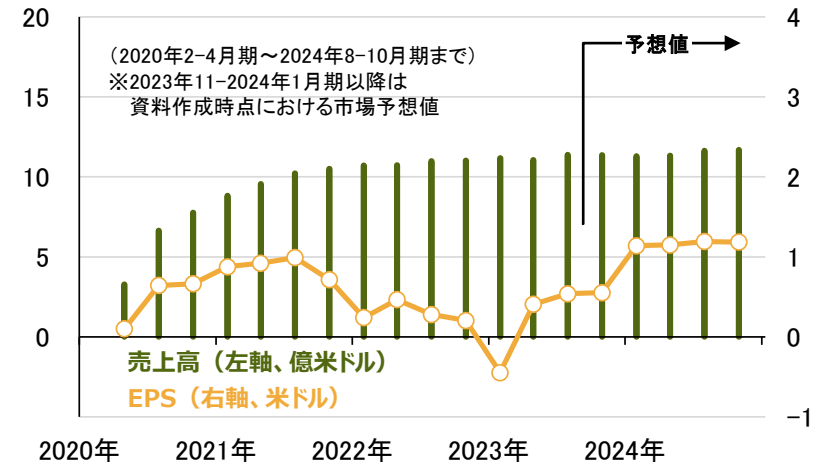
(ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ)

ビデオを通じたコミュニケーション・プラットフォーム

- ARKは、安全なビデオ、電話、チャット、コンテンツ共有などを通じて人々をつなぐ、コミュニケーション・プラットフォームを提供するズームが、企業間コミュニケーションの主要プラットフォームになると確信している。
- ARKは、企業が、内線電話やビデオなどの従来型のコミュニケーションシステムを新しいクラウドベースのシステムへ移行する中で、同社の主力製品の顧客が、リモート/ハイブリッドワーク環境に最適となるように、単なるビデオ会議システムを、電話、チャットも含む総合型のシステムに切り替えると予想している。
- 過去1年間、同社の企業顧客層は拡大し続けており、これはARKの長期的評価の重要なポイントとなっている。ARKは、企業市場の約50%が同社のような高品質のUCaaS(様々な通信・伝達手段を統合・管理する技術を提供するサービスプロバイダー)に移行すると考えている。足元、同社はRPO(契約残高)の高い伸びを記録しており、同社の商品・サービスがより長く、より価値の高い企業契約へと移行していることを裏付けている。

- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価（上） および四半期売上高／EPS（下）の推移】



組入上位銘柄のご紹介④



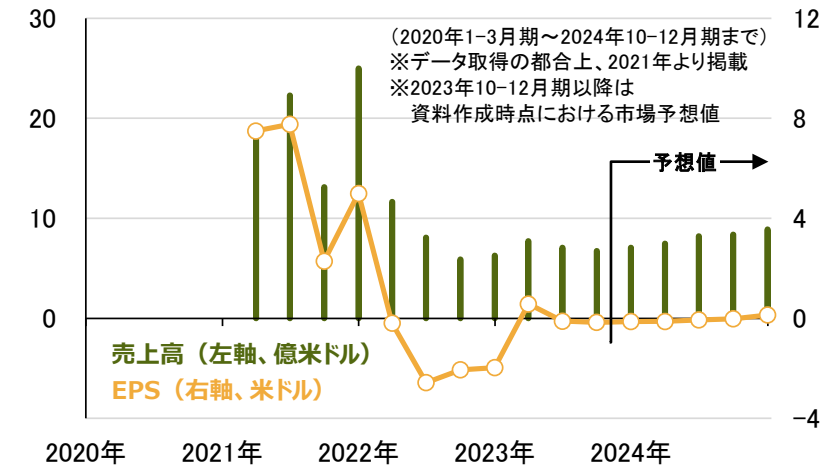
12月決算

COINBASE GLOBAL (コインベース・グローバル)

暗号資産取引所の大手としての地位を確立

- 2012年に設立されたコインベースを通じて、1億人以上の顧客が暗号資産口座を開設しており、同社が暗号資産への最も信頼できる出入口のひとつになったとARKは考えている。同社は米国で上場を果たした唯一の主要暗号資産取引所であり、同業他社と比較して規制を満たす水準も高い。これを裏付けるように、同社は米資産運用会社大手と提携し、機関投資家ビジネスに参入した。
- 同社は、暗号資産に限らないインターネット上で流通する電子的な資産への投資機会を提供しており、ARKはこうした電子的な資産の時価総額に比例して、同社の収益は拡大すると考えている。
- ARKは長期的に見た暗号資産の可能性について、引き続き強い確信を持っている。ビットコインやイーサリアムのような暗号資産は、中央集権型の管理手法とは異なり、透明性、開放性を有するパブリック・ブロックチェーンで運営されており、2022年秋以降の一連の破綻騒動の後も、円滑な取引が続いている。

【株価（上）および四半期売上高／EPS（下）の推移】



- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入上位銘柄のご紹介⑤

1月決算

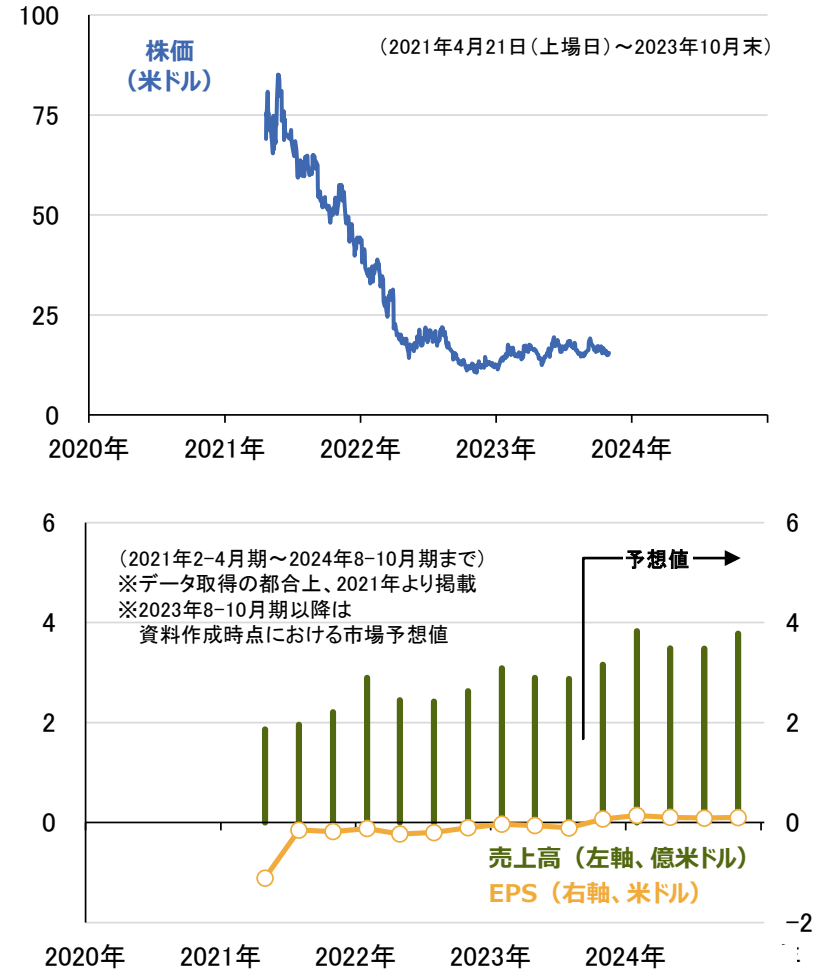
UiPath (ユーアイパス)



複雑なプロセスを自動化するRPA*製品群を提供 *PC業務の自動化技術

- ユーアイパスは、エンド・ツー・エンド(利用者間)における自動化プラットフォームを提供し、あらゆる業種におけるRPAのソリューションを提供し、労働者の業務負担を軽減することで、より創造的で達成感の得られる業務に従事することを手助けしている。
- 同社のプラットフォームは、エンドユーザーがアプリケーションを利用することで自動化システムが作成できることを目的としており、専門技術を持たないユーザーでも簡単にプログラミングできる。
- ARKは、同社がプロセス自動化という長期的なトレンドを背景に業績を伸ばすのに有利な立場にあると考えている。自然言語処理を手掛ける企業を買収した同社は、独自のAI自動技術に自然言語処理を統合し、より大規模な情報量を処理できるようになったことを示した。ARKは、同社の自動化システムは自動運転技術の発展にも貢献すると考えている。

【株価(上) および四半期売上高/ EPS (下) の推移】



- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入上位銘柄のご紹介⑥



12月決算

BLOCK(ブロック)

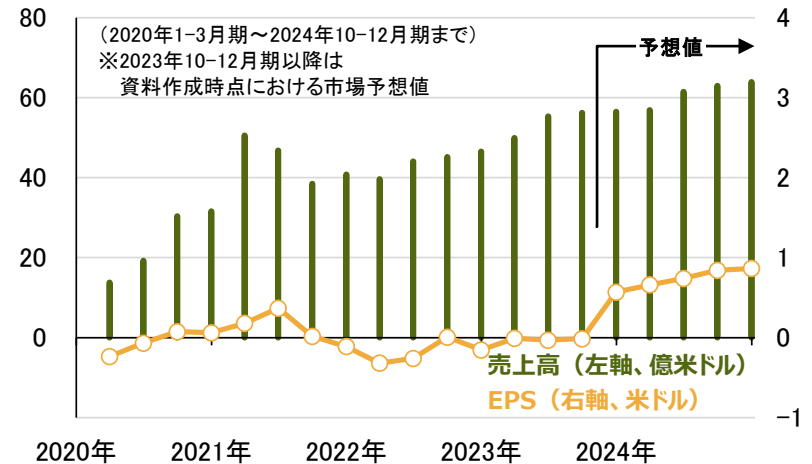
旧:スクエア

決済が発生しうる様々な取引のプラットフォーム

- ブロックは、同社のスクエアプラットフォームにより、米国内外の約700万の加盟店に対して年間2,000億米ドル近い決済を促進し、付随的な商取引や銀行サービスを提供することで、多様なチャネルでの商取引の障壁を大幅に下げている。
- 同社が手掛けるデジタルウォレットは、オンラインを中心としたサービス展開であることから、顧客獲得コストが低く、年齢や性別、地域、所得などを問わず、幅広い層への金融サービスを提供可能にする重要なプラットフォームであるとARKは考えている。
- 同社の決済アプリは、米国と英国の5,000万人以上の月間アクティブユーザーにデジタル・バンキング・サービスを提供している。ARKは、15歳から64歳の米国人口の20%以上が同社の決済アプリを利用していると推定しており、同アプリは、すでに消費者や企業に広く採用されていると考えている。また、同社の今後の成長は、顧客の消費と預金を獲得するためのサービス全般の拡大からもたらされるとみている。

- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価（上）および四半期売上高／EPS（下）の推移】



組入上位銘柄のご紹介⑦

12月決算

DRAFTKINGS (ドラフトキングス)

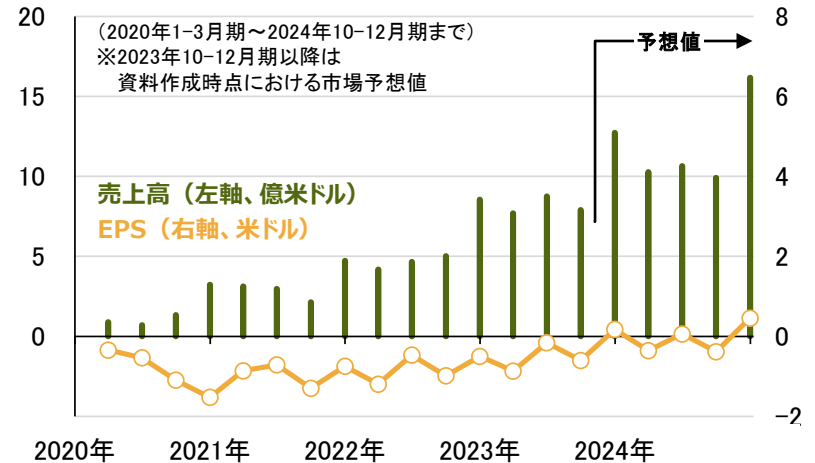


米国を代表するオンラインスポーツ・エンターテインメント事業者

- ドラフトキングスは、オンライン・スポーツ・ベッティング(ブック、賭け)、及び、ファンタジー・スポーツ(架空のチームを構成して競い合わせるゲーム)の米国を代表する事業者である。
- 2018年のオンライン・スポーツ・ベッティングの合法化以降、米国とカナダにおける取扱高は年平均225%で成長し、2022年には1,000億米ドルに達した。ARKでは、2027年には年平均成長率が27%となり、3,300億米ドルまで取扱高が拡大すると予想している。米国のオンライン・スポーツ・ブック市場は、同社による寡占状態にある。
- 2023年8月現在、スポーツ・ブックのデポジット(預り金)に占める同社のシェアは36%と推定される。同社は、自社製ベッティングエンジンの開発を進め、より細かいベッティング、特にパーレイベット(複数のベット(賭け)を組み合わせたもの)の提供が可能となった。ARKIは、優れた製品とブランドによる市場支配力で、同社は市場が拡大するなかで高い収益力を持つと考えている。

- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価(上) および四半期売上高/ EPS(下) の推移】



組入上位銘柄のご紹介⑧



12月決算

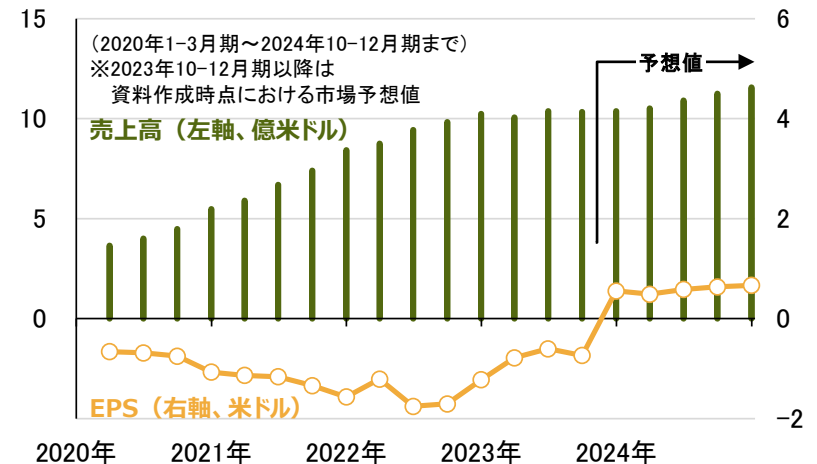
Twilio (トウイリオ)

クラウド経由で音声通話やSMSを行なうというコンセプトの先駆者

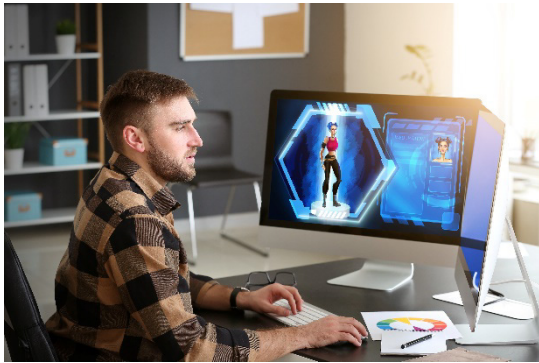
- トウイリオの使いやすいAPI(互いのソフトウェアやアプリケーション機能の一部を共有するための仕組み)は、コンピューターのプログラム上から簡単に電話をかけたり、テキストメッセージを送信することに寄与している。
- 同社はクラウド・サービスを通じて様々な通信製品・サービスを提供している。電子決済が成長を続ける中、同社は決済に対応した一連のAPIの提供で収益をあげている。携帯電話の世界的な普及と利用拡大が続く中、同社は企業対顧客の新しいコミュニケーションを促進する可能性があるとしてARKは評価している。
- コールセンター用のソフトウェアから顧客データ・プラットフォームに至るまで、同社は顧客コミュニケーション・チャンネルにAIを導入する上で最適な立場にあるとARKは考えている。同社は、何十億もの顧客との対話によるデータを獲得しており、このデータでAIモデルを磨き上げ、幅広いユーザーや企業に対応することができる。このため、時間の経過とともに、アプリケーション・ソフトウェアの収益が全体的な利益率改善につながると予想している。

- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価（上）および四半期売上高／EPS（下）の推移】



組入上位銘柄のご紹介⑨



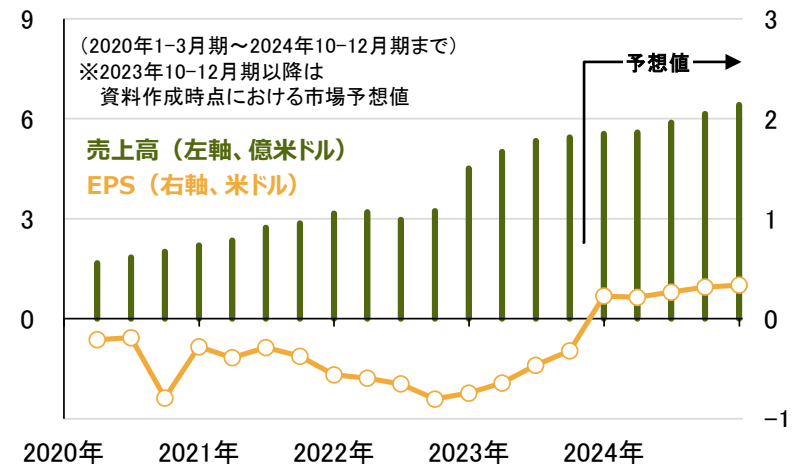
12月決算

UNITY SOFTWARE (ユニティ・ソフトウェア)

リアルタイムの2Dおよび3Dゲーム用ソフトウェアソリューションを開発

- ユニティ・ソフトウェアの2Dおよび3Dデータを即時に作成する最先端のグラフィックエンジン、モバイルゲームで70%以上、バーチャルリアリティゲーム(メタクエストデバイス)で高いシェアを持っている。
- 同社のゲームエンジンとマネタイズ(収益化)ツールは、世界中の多くのゲーム開発者の成功に不可欠となっている。世界のゲームソフトウェアとサービスの売上は、ソーシャルメディアとビデオゲームの融合、および、物理的資産からデジタル資産への消費行動の変化により、2022年の約2,000億米ドルから2027年には年平均10%の割合で3,000億米ドル以上に成長するとARKは推定している。
- 同社は、このプロセスを通じて、ゲーム開発とマネタイズの中核であり続けるとARKは考えている。さらに同社は、ゲーム開発を変革する生成AIの可能性を取り入れながら、新しいテクノロジーに迅速に適応している。2023年夏、同社はゲーム開発を加速させ、エンドユーザーのデバイス上でコスト効率の高いAI推論を可能にする2つのAI製品を発表している。

【株価(上) および四半期売上高/ EPS (下) の推移】



- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入上位銘柄のご紹介⑩



12月決算

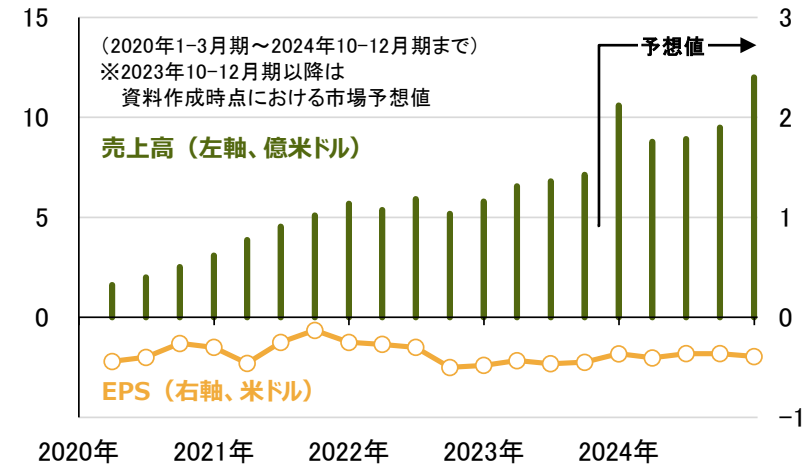
ROBLOX (ロブロックス)

ユーザー自身によるゲーム開発をサポートするゲームエンジンを提供

- 約6,600万人のデイリーアクティブユーザーと、600億時間近い年間利用時間を誇るロブロックスは、今日のゲームおよびオンライン・エンターテインメントにおいて最も影響力のある企業のひとつである。
- 単独開発者からゲーム会社まで、様々なサードパーティ(独自でソフトを開発・製造・販売するメーカー)が開発したゲームなどと消費者をつなぐマーケットプレイスとして、同社は、高度に作られたゲームからより簡易なゲームまで様々なゲームを体験できることを可能にしたとARKはみている。
- 同社は、小口取引、広告、サブスクリプションなど、ゲーム開発者のための収益化ツールを拡大し続けている。また、同社のプラットフォームは、エンターテインメントとバーチャル社会の両方のニーズを満たす場として、ゲーム利用時間全体のシェアを継続的に獲得するのに適した存在であると考えている。同社の顧客年齢は年々高まっており、広告と直接商取引の両方において、より消費力のある成熟したユーザーに訴求することで、収益化を加速できるとARKは考えている。

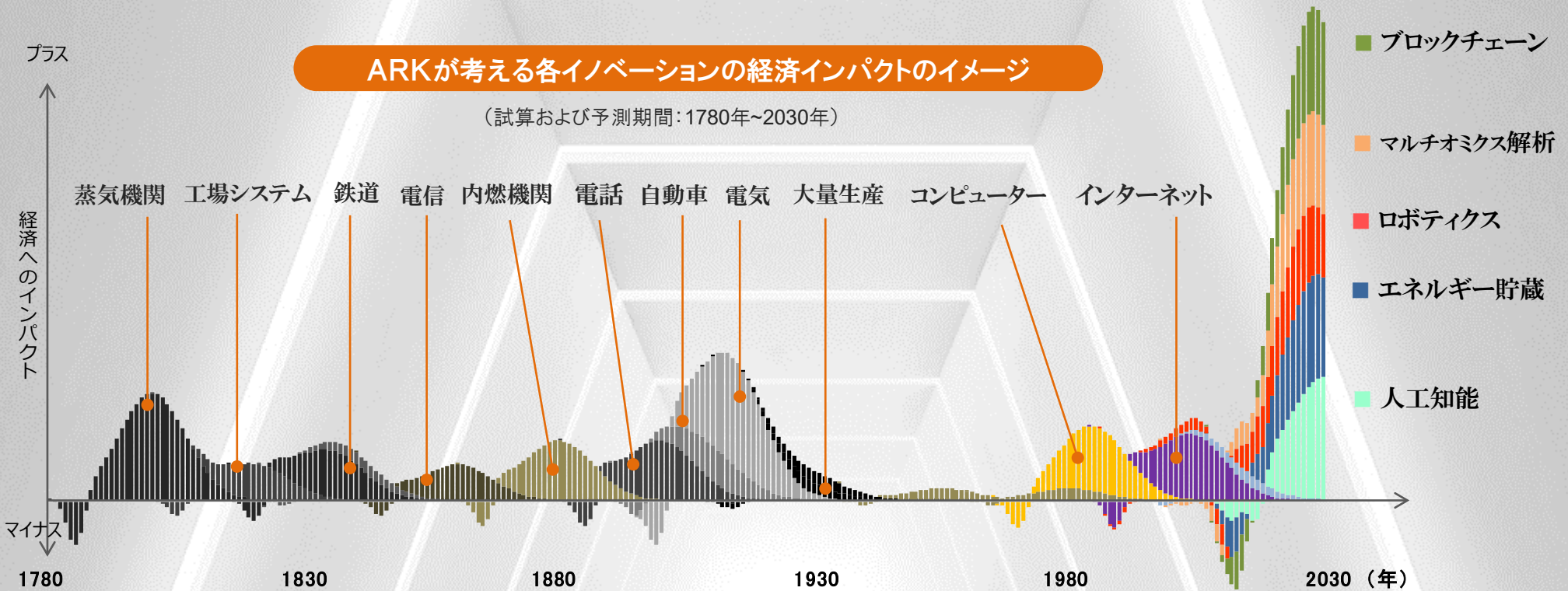
- 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。
- 2023年9月末時点の組入上位について、ARK社からのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

【株価（上） および四半期売上高／EPS（下）の推移】



イノベティブ・フューチャーは

今後の世界経済の成長の原動力となる複数のイノベーションにおいて、
主役となる企業に投資を行なうことで中長期でのリターンを
目指すファンドです。



出所: ARK (アーケ・インベストメント・マネジメント・エルエルシー)

※ 上図はARKが経済歴史学者の見解なども参考にして独自に算出した、過去と将来におけるイノベーションの相対的な経済インパクトを示したものです。算出にあたってはすべてのイノベーションは投資とその現実化において類似のサイクルおよび期間を要するという前提に基づいています。過去の試算および将来の予測については限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

ファンドの特色

1

主に、世界の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式*を実質的な投資対象とします。 * 預託証券を含みます。

- イノベーションの普及度合いや市場での評価は時間と共に変化することから、投資対象とするイノベーションは固定せず、随時見直しを行ないます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2

個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクが当ファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」の運用を行ないます。

3

年1回、決算を行ないます。

- 毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

● 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

(次頁に続きます)

お申込みに際しての留意事項②

(前頁より続きます)

【信用リスク】

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みに際しての留意事項③

●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2019年6月28日設定)
決算日	毎年5月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。 ※2024年1月1日以降、公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。上記は、2023年6月末現在のもので、 税法が改正された場合などには、変更される場合があります。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し <u>年率1.658%(税抜1.58%)程度</u> が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.858%(税抜0.78%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.8%程度となります。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	第一種金融商品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	○		○	○
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(50音順、資料作成日現在)

nikko am
Nikko Asset Management